

令和元年度 第1回 庄内PJ緩和ケアを学ぼう会アンケート 結果

◆日時 令和元年6月3日(月) 18:30～20:00 ◆会場 庄内病院 3階 講堂
 ◆参加人数106名 ◆アンケート協力者98名 (回答率92%)

【内 容】

1. 事例・取り組み紹介

①「最期まで自宅で過ごすことができた末期がん女性の事例」

～1人暮らしでも自宅で過ごすことはできますか？と聞かれて～

指定居宅介護支援事業所 みどり 管理者 主任介護支援専門員 伊藤 優梨 氏

②「最後まで自分らしく～家庭的な雰囲気の中で家族の想いと共に～」

グループホームいろ花の里 介護員 高山 謙一 氏

2. 講義「がんの緩和ケア～痛みの評価と治療、医療用麻薬の自宅や施設での管理について」

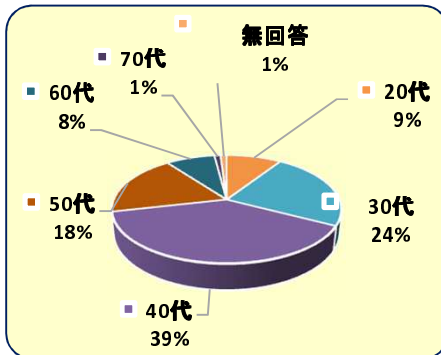
庄内病院 内科医長・緩和ケアチーム医師 和泉 典子 氏

篠田訪問薬局 薬剤師 篠田 太郎 氏

【1. あなたご自身について】

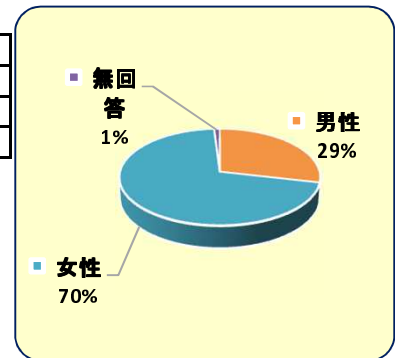
【年齢】

20代	9
30代	23
40代	38
50代	18
60代	8
70代以上	1
無回答	1
	98



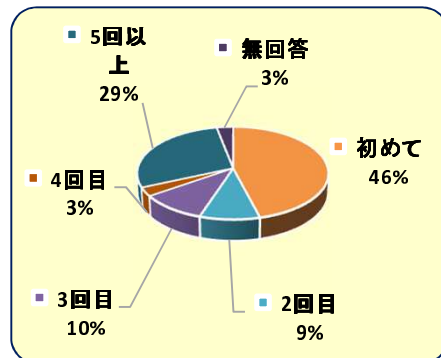
【性別】

男性	28
女性	69
無回答	1
	98



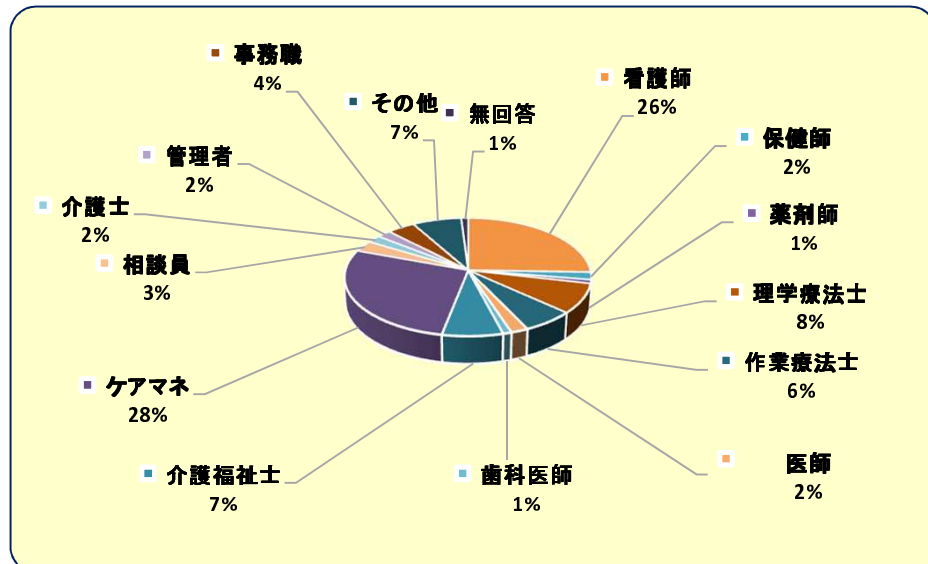
【参加回数】

初めて	45
2回目	9
3回目	10
4回目	3
5回以上	28
無回答	3
	98



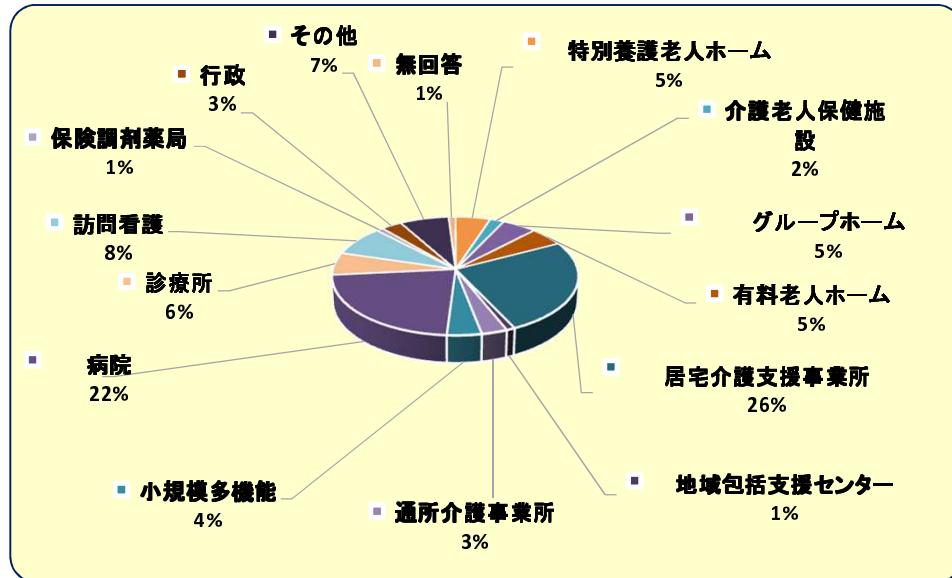
【職種】

看護師	25
保健師	2
薬剤師	1
理学療法士	8
作業療法士	6
言語聴覚士	0
医師	2
歯科医師	1
歯科衛生士	0
栄養士	0
介護福祉士	7
ケアマネ	27
相談員	3
介護士	2
管理者	2
事務職	4
その他	7
無回答	1
	98



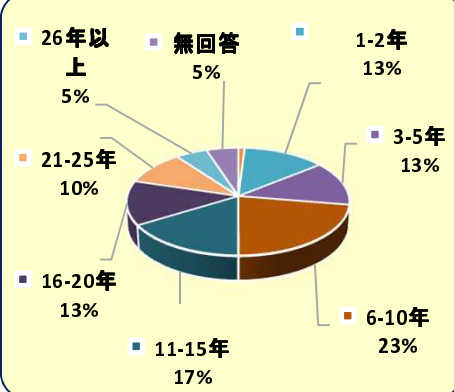
【勤務場所】

特別養護老人ホーム	5
介護老人保健施設	2
グループホーム	5
有料老人ホーム	5
居宅介護支援事業所	25
地域包括支援センター	1
訪問介護事業所	0
訪問入浴事業所	0
通所介護事業所	3
短期入所事業所	0
小規模多機能	4
病院	22
診療所	6
訪問看護	8
保険調剤薬局	1
行政	3
福祉用品	0
その他	7
無回答	1
	98



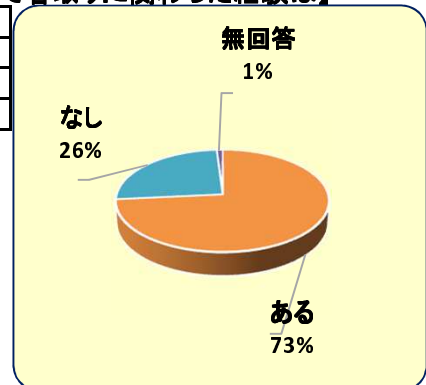
【経験年数】

1年未満	1
1-2年	13
3-5年	13
6-10年	22
11-15年	16
16-20年	13
21-25年	10
26年以上	5
無回答	5
	98



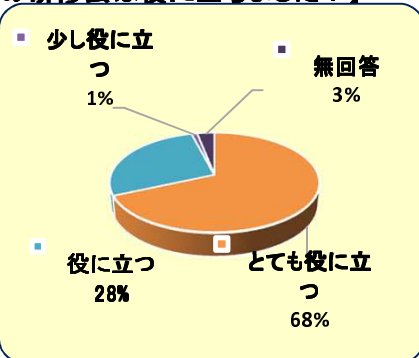
【職場で看取りに関わった経験は】

ある	72
ない	25
無回答	1
	98



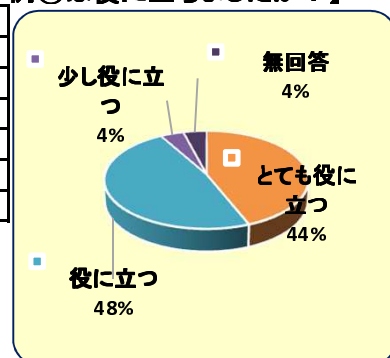
【2. この研修会は役に立ちました？】

とても役に立つ	55
役に立つ	39
少し役に立つ	2
あまり役に立たない	0
役に立たない	0
無回答	2
	98



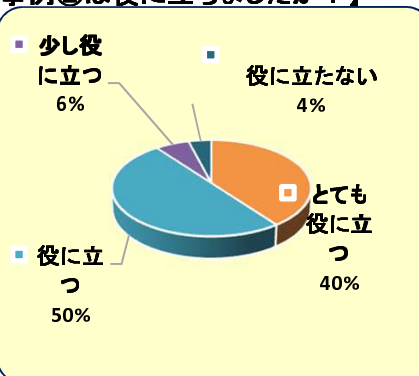
【3. 事例①は役に立ちましたか？】

とても役に立つ	43
役に立つ	47
少し役に立つ	4
あまり役に立たない	0
役に立たない	0
無回答	4
	98



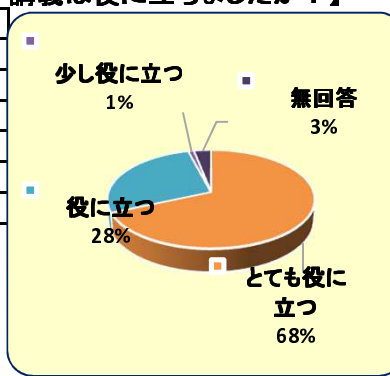
【4. 事例②は役に立ちましたか？】

とても役に立つ	39
役に立つ	49
少し役に立つ	6
あまり役に立たない	0
役に立たない	0
無回答	4
	98



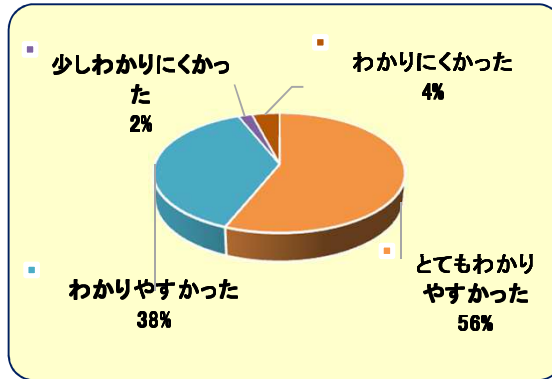
【5. 講義は役に立ちましたか？】

とても役に立つ	67
役に立つ	27
少し役に立つ	1
あまり役に立たない	0
役に立たない	0
無回答	3
	98

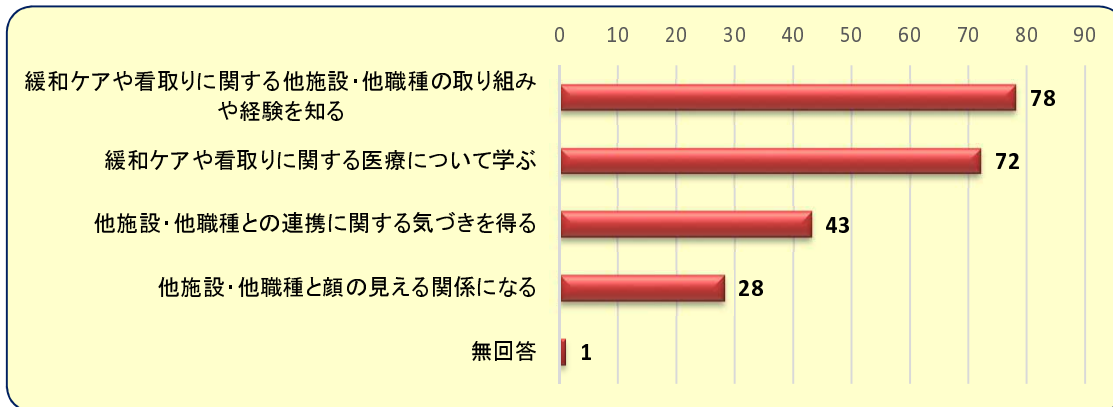


【6. 講義はわかりやすかったですか？】

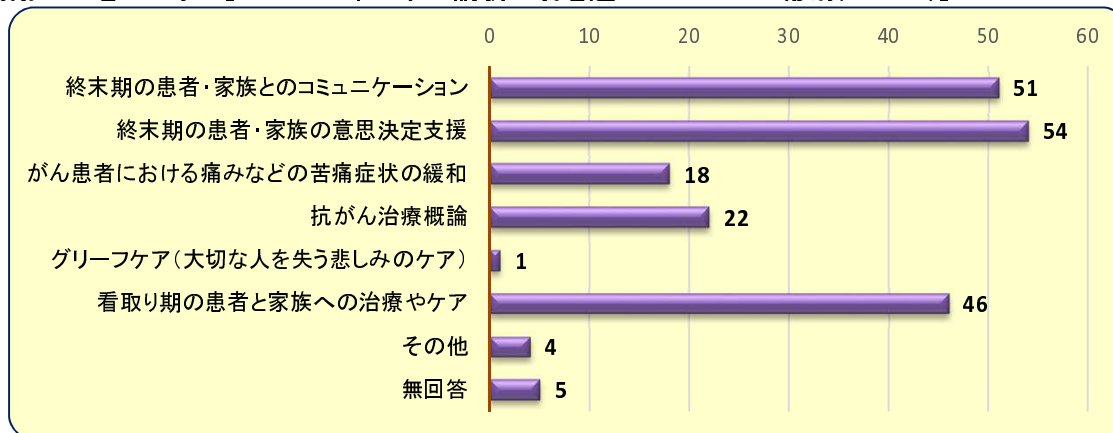
とてもわかりやすかった	55
わかりやすかった	37
少しわかりにくかった	2
わかりにくかった	4
無回答	0
	98



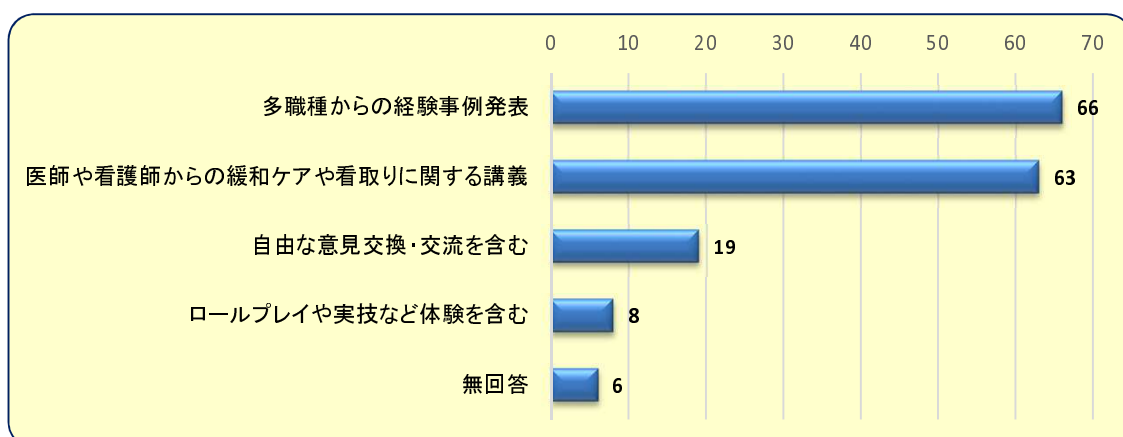
【7. 「緩和ケアを学ぼう会」はあなたにとってどのように役立つと思いますか？(複数回答可)】



【8. 「緩和ケアを学ぼう会」について希望する講義内容を選んでください。(複数回答可)】

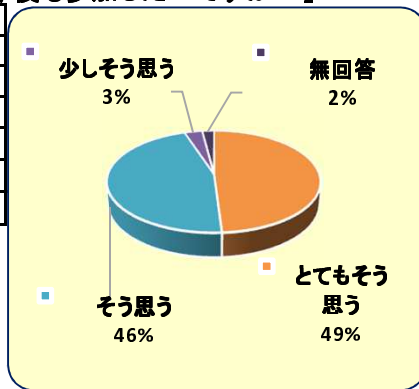


【9. 「緩和ケアを学ぼう会」の形式について希望する内容を選んでください。(複数回答可)】



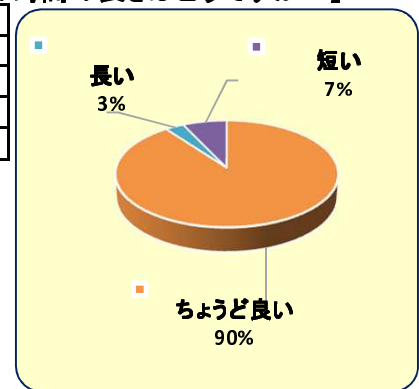
【10. この研修会に今後も参加したいですか？】

とてもそう思う	48
そう思う	45
少しそう思う	3
あまりそう思わない	0
そう思わない	0
無回答	2
	98



【11. この会の時間の長さはどうですか？】

ちょうど良い	88
長い	3
短い	7
無回答	0
	98



❁ ご意見・ご感想など自由記述

- 大切な事項はサマリーでもよいので、講演会の前半に基礎講座として何回も機会を作ってほしい。(60代 歯科医師)
- 医療用麻薬の知識が全くなかったので、本当に勉強になりました。施設での「看取る」ということが少なくない世の中にあると思います。福祉職は、どうしても関わりを重視することが多くなります。看護師が常にいるわけではないので、もっと医療的知識を身につけることが必要になってくると強く感じました。今回はとても貴重な時間となりました。ありがとうございました。(20代 事務職)
- 大変興味深い講演をありがとうございました。外来でのオピオイド導入・その後のフォロー、スタッフの知識不足(自分も含め)など、今まさに難渋しています。外来での取り組み方もぜひご教授いただきたいです。よろしくお願いします。(30代 保健師)
- 機会を作って頂きありがとうございました。(30代 保健師)
- 大変参考になりました。日常を振り返ったり、再確認するよい機会となりました。ぜひまた参加させていただきたいと思います。患者さんお一人お一人に寄り添って苦痛を緩和できるプロフェッショナルになりたいと思いました。ありがとうございました。(40代 看護師)
- 各施設の取り組みがきけてよかったです。(40代 看護師)
- 病院職員の方だけでなく、多職種、多施設の方が参加されていて興味深かったです。事例では、PtとFaと共に悩みながらも看取りまで寄り添うプロセスがとてもわかりやすかったです。文章化する能力が高いと思いますし、まとめ方も参考になりました。講義では、より専門的な内容をレクチャーしてもらい、あらためて学んだ部分もあり、よく理解できました。(30代 看護師)
- あまりふれることがない麻薬の学習ができ、ためになりました。(30代 ケアマネ)
- 日中の開催はむずかしいでしょうか。土曜日とか、夜だと参加しにくいので。(40代 ケアマネ)
- 今の職場では看取りに関わる事はなくなりましたが、痛み止めを使用する患者さんも多いのでとても勉強になりました。(30代 作業療法士)
- 痛みへの対応について、難しいと感じます。(50代 看護師)
- 家族にガン患者がいる為勉強になりました。現在麻薬は使用していないが、今後使用することがあると思うので勉強になりました。(50代 看護師)
- 具体的な事例を聞くことが出来たので大変勉強になりました。また、薬剤に関してもとても分かりやすかったです。また参加させていただきます。ありがとうございます。(30代 医薬品卸)
- がんの利用者は直接関わっていませんが、薬の使い方によって痛みの緩和が出来る事、服薬の重要性、必要性を考えさせられました。実際、その場になった時、記録の重要性、普段の会話等も記録したほうが良い事がわかりました。(50代 介護士)
- 麻薬のイメージとして、習慣性や依存性があり抵抗がありましたが治療としては、NSAIDsより安全ということで驚かされました。非常に「勉強になりました。(40代 その他)
- 大変勉強になりました。更に責任を持って医薬品卸供給に努めます。(40代 医薬品卸)
- 医療用麻薬について、理解が深まった。(50代 保健師)
- とても勉強になりました。ありがとうございました。(50代 ケアマネ)
- 事例1例目はご本人の気持ちと家族の気持ちの揺れ動きやそれに伴うサービス調整がとてもわかりやすかったです。二例目は看護師のいない施設でも看取りが出来る事を初めて知りました。スタッフ間の不安をなくし、情報共有をどのように行ったか気になりました。モルヒネ・末期ガンのイメージでしたが講義を聴いて自分が古いイメージのままだと気付きました。地域でがん看取りを行うことのできる事業所・施設がもっと増えるといいなと思いました。自宅や介護施設での麻薬管理に金庫はいらないこと、今日で覚えました！(30代 相談員)

- ◎ 2つの事例を聴いて、本人の希望・ご家族の希望に添った医療の提供の大切さを再確認した緩和ケアは、多職種で連携して成り立つものだったと思ったので、そのような機会があった際には、本人の気持ちに寄り添った医療ができるように学んでいきたい。(20代 理学療法士)
- ◎ 放射線療法とがんリハについても聴きたい。(40代 ケアマネ)



ご協力ありがとうございます。

南庄内緩和ケア推進協議会

緩和ケアを学ぼう会グループ